

ファームウェア リリース 11.0(5)SR2 の Cisco Wireless IP Phone 8821 および 8821-EX に関するリリースノート

First Published: 2020-01-30

Last Modified: 2020-08-12

ファームウェア リリース 11.0(5)SR2 の Cisco Wireless IP Phone 8821 および 8821-EX に関するリリースノート

これらのリリースノートは、Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 および 8821-EX ファームウェア リリース 11.0(5)SR2 に対応しています。

次の表では、電話機に必要なシステムとバージョンについて説明します。

システム (System)	最小バージョン	推奨バージョン
Cisco Unified Communications Manager	9.1(2)	10.5(2)、11.0(1)、11.5(1)、およびそれ以降
Cisco Unified Communications Manager Express	10.5 (Fast Track 経由)	11.0、11.5、11.7 (ネイティブサポート)、およびそれ以降
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony	10.5	11.0、11.5、11.7、およびそれ以降
Cisco ワイヤレス LAN コントローラ	8.0.121.0	8.0.152.0、8.2.170.0、8.3.143.0、8.5.140.0、8.8.120.0
Cisco IOS アクセス ポイント (Autonomous)	12.4(21a)JY	12.4 (25d) JA2、15.2 (4) JB6、15.3 (3) JF1
Cisco Meraki	MR 25.9、MX 13.33	MR 25.11、MX 13.33

新機能および変更された機能

本リリースには新機能または機能変更はありません。

関連資料

関連情報を入手するには、以下のセクションを参照してください。

Cisco Wireless IP Phone 882x シリーズのドキュメント

お使いの言語、電話機モデル、およびコール制御システムに関する参照物を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/tsd-products-support-series-home.html>

導入ガイドは、次の URL で参照できます。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-implementation-design-guides-list.html>

Cisco Unified Communications Manager マニュアル

Cisco Unified Communications Manager ドキュメンテーション ガイドおよびご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースバージョン用の他の資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Unified Communications Manager Expressのマニュアル

お使いの言語、電話機モデル、および Cisco Unified Communications Manager Express リリース向けの資料を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-express/tsd-products-support-series-home.html>

インストール

インストール要件

ファームウェアリリースをインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) が最新のデバイスパックを実行していることを確認する必要があります。クラスタ内の Unified CM サーバにデバイスパックをインストールした後、すべてのサーバを再起動する必要があります。



Note

このファームウェアリリースをサポートするために必要なデバイスパックが Unified CM にはない場合は、ファームウェアが正常に動作しない可能性があります。

Unified CM デバイスパックの詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/matrix/CMDP_BK_CCBDA741_00_cucm-device-package-compatibility-matrix.html を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager にファームウェア リリース 11.0(5)SR2 をインストールする

Cisco Unified Communications Manager で電話のファームウェア リリースを使用する前に、クラスター内のすべての Cisco Unified Communications Manager サーバに最新の Cisco Unified Communications Manager ファームウェアをインストールする必要があります。

Procedure

-
- Step 1** 次の URL にアクセスします。
<https://software.cisco.com/download/home/284729655>
- Step 2** [Wireless IP Phone 8821] または [Wireless IP Phone 8821-EX] を選択します。
- Step 3** [Session Initiation Protocol (SIP) ソフトウェア (Session Initiation Protocol (SIP) Software)] を選択します。
- Step 4** [最新リリース (Latest Releases)] フォルダで [11.0(5)SR2] を選択します。
- Step 5** ファームウェアファイルを選択し、[ダウンロード (Download)] または [カートに追加 (Add to cart)] ボタンをクリックして、プロンプトに従います。
 ファームウェア ファイル: cmterm-8821.11-0-5SR2-2.k3.cop.sgn
- Note** ファームウェア ファイルをカートに追加した場合、ファイルをダウンロードする準備ができたなら [カートのダウンロード] リンクをクリックします。
- Step 6** このファイルに関する追加情報にアクセスするには、[カートのダウンロード (Download Cart)] セクションのファームウェアファイル名の横にある [+] をクリックします。[追加情報] セクションには、該当するファームウェアのインストール手順が記載された Readme ファイルへのハイパーリンクがあります。
- Step 7** Readme ファイルの手順に従って、ファームウェアをインストールします。
-

Cisco Communications Manager Express にファームウェア リリース 11.0(5)SR2 をインストールする

ソフトウェア ダウンロードセンターから Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 ファームウェア イメージ ファイルをダウンロードする必要があります。

Cisco Unified Communications Manager Express のサポートに関する詳細については、
http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucme/feature/phone_feature/phone_feature_support_guide.html を参照してください。

この手順の詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Express システム アドミニストレータ ガイド』の「Cisco Unified CME ソフトウェアのインストールおよびアップグレード」の章を参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucme/admin/configuration/manual/cmeadm.html

Procedure

- Step 1** 次の URL にアクセスします。
<https://software.cisco.com/download/home/284729655>
- Step 2** [Wireless IP Phone 8821] または [Wireless IP Phone 8821-EX] を選択します。
- Step 3** [Session Initiation Protocol (SIP) ソフトウェア (Session Initiation Protocol (SIP) Software)] を選択します。
- Step 4** [最新リリース (Latest Releases)] フォルダで [11.0(5)SR2] を選択します。
- Step 5** [Download] または [Add to cart] をクリックして、プロンプトに従います。
ダウンロードするファイルは、cmterm-8821.11-0-5SR2-2.zip です。
- Step 6** .zip ファイルからファイルを抽出し、Cisco Unified Communications Manager Express TFTP サーバ (ルータ フラッシュ) に手動でコピーして、TFTP 用に有効にします。
-

制限事項と制約事項

ネットワーク輻輳時の電話の動作

ネットワーク パフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声にも影響を及ぼすため、場合によっては、コールがドロップする可能性があります。ネットワーク パフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

医療環境

この製品は、医療機器ではありません。他の装置または機器からの干渉を受けやすい、ライセンスのない周波数帯域を使用します。

録音トーンの音量制限

録音機能を使用する場合は、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) で設定されている録音トーンのローカル ボリュームを変更することをお勧めします。フィールドをデフォルトの 100 から 20 に変更します。

Unified CM デバイス パッケージ (2017 年 10 月以降) では、デフォルトは 20 に設定されています。

詳細については、<https://tools.cisco.com/bugsearch> を使用している CSCvc14605 を参照してください。

ISE 2.0 ~ 2.3 を使用した TLS 1.2 トンネルの制限事項

電話機と Cisco Identity Service Engine (ISE) サーバ間の TLS 1.2 トンネルをサポートするには、[CSCvm03681](#) を解決するための ISE パッチを適用する必要があります。このパッチは、リリース 2.0 ~ 2.3 を実行している ISE サーバで必要となります。ISE リリース 2.4 以降にはパッチが含まれています。

注意

不具合の表示

Cisco Bug Search ツールを使用して警告 (バグ) を検索できます。

既知の注意事項 (バグ) は、重大度レベルに従ってグレードが付けられており、未解決または解決済みの場合があります。

Before you begin

警告を表示するには、次の項目が必要です。

- インターネット接続
- Web ブラウザ
- Cisco.com のユーザ ID とパスワード

Procedure

-
- Step 1** 次のいずれかの操作を実行します。
- すべての注意事項について、次の URL を使用してください。
https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&pf=prdNm&pfVal=286308995&rls=11.0%285%29SR2&sb=anfr&bt=custV
 - 未解決のすべての警告には、次の URL を使用します。
https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&pf=prdNm&pfVal=286308995&rls=11.0%285%29SR2&sb=afir&bt=custV
 - 解決済みのすべての警告には、次の URL を使用します。
https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&pf=prdNm&pfVal=286308995&rls=11.0%285%29SR2&sb=fr&bt=custV
- Step 2** プロンプトが表示されたら、Cisco .com ユーザ ID とパスワードを使用してログインします。
- Step 3** (Optional) [検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力し、[入力 (Enter)] を押します。
-

未解決の不具合

次のリストには、ファームウェア リリース 11.0(5)SR2 を使用している Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 で未解決になっている、重大度 1、2、および 3 の不具合が記載されています。

個々の不具合の詳細については、バグ検索ツールキットから不具合に関するオンラインレコードにアクセスしてください。このオンライン情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

不具合の状態は頻繁に変わるため、このリストはこのレポート編集時点で未解決だった不具合のスナップショットを表しています。未解決の不具合の更新されたビューまたは特定のバグを表示するには、[不具合の表示](#), [on page 5](#)の説明に従ってバグ検索ツールキットにアクセスします。

- CSCvh27418 [転送 (Transfer)] ソフトキーは C アンサーの前でグレーにし、半転送は無効にする必要がある
- CSCvh47665 保護された電話機でスピーカーが有効になっているが、セキュア トーンが再生されない
- CSCvm58907 ファームウェアで新規の関連付けを完了できない場合がある
- CSCvm87368 DHCP オプション 150 のフィールドが最大長に設定されている場合に、電話機で IP アドレスを取得できない
- CSCvm95611 HTTP URL の優先順位が 1 または 2 の場合に、XML メッセージがロック画面に表示されない
- CSCvn07039 FAC または CMC エラーが含まれる SD を押しても "\エラー: 無効な短縮ダイヤルのコードです (Error:Invalid Code in Speed dial)\" が表示されない
- CSCvn18501 xfer/会議中のセッションバブルで MLPP の優先順位が失われる
- CSCvn41362 cp8821 着信コール トースト\" に \"CAL のテキスト番号\" が表示される
- CSCvn43154 マルチレグ通話履歴に \"[詳細 (Details)]\" ソフトキーがない
- CSCvn64510 ネイバー リストに複数の AP が表示され、シングル AP モードの場合に更新されない
- CSCvn66303 電話機でバイブレーションがオン、呼出音がオンになっているにもかかわらず、保留中または RIU セッション中に振動しない
- CSCvo09354 \"[Huntgroupにログイン済み (Logged into Huntgroup)]\" チェックボックスをオフにしても、トースト メッセージが表示されない
- CSCvo26159 reassoc_resp it で以前の AP を使用して認証を試行しても、8821 で無線を介した FlexConnect のローミングに失敗する
- CSCvo30508 回線の [不在着信 (missed calls)] ページが空白の場合に、ソフトキーのオプションが表示されない
- CSCvo37017 保留中のコールが復帰しても、呼出音が再生されない
- CSCvo45809 OpenSSH バイルアウト遅延ユーザ列挙の脆弱性 (CVE-2018-15473)

- CSCvo55873 非プライマリ回線の CFW 情報が SRST に伝送されない
- CSCvo78333 SRST での会議コール UI 表示エラー
- CSCvq25311 dbus における複数の脆弱性
- CSCvq31290 BusyBox の add_match 関数における任意のコード実行の脆弱性
- CSCvq76705 完全充電後、バッテリー レベル 99 ~100% のフローティング問題を確認
- CSCvq80441 Bluetooth 脆弱性の Cisco 8821 ワイヤレス IP 電話 キー ネゴシエーション
- CSCvr06067 Dnsmasq DNS パケット処理バッファ オーバーフローの脆弱性
- CSCvr30314 Linux カーネルにおける複数の脆弱性 (CVE-2019-10638 and CVE-2019-10639)
- CSCvr54353 Linux カーネル CVE (CVE-2019-16413 から CVE-2019-3874)
- CSCvr55596 cURL および libcurl tftp_receive_packet() 関数ヒープ バッファ オーバーフロー ...
- CSCvr57950 共有回線が 2 つ目の着信通話に応答した後、電話機がオレンジ色に点滅し続ける
- CSCvr70039 Linux カーネルの脆弱性 (CVE-2019-11190)
- CSCvr71242 Linux カーネルの脆弱性 (CVE-2019-11599)
- CSCvr71414 Linux カーネルの脆弱性 (CVE-2019-15214)
- CSCvr76650 Linux カーネルの脆弱性 (CVE-2019-15916)
- CSCvr87703 Linux カーネルの脆弱性 (CVE-2019-15916)
- CSCvr89188 Linux カーネルの脆弱性 (CVE-2019-16994)
- CSCvr94805 Linux カーネルの脆弱性 (CVE-2019-15927)
- CSCvs33435 Linux カーネルにおける解放済みメモリ使用 (Use-After-Free) の脆弱性 (CVE-2017-10661)
- CSCvs55658 openssl における複数の脆弱性
- CSCvs63233 Linux カーネルの複数の脆弱性 (CVE-2018-5344)

解決済みの不具合

次のリストには、ファームウェア リリース 11.0(5)SR2 を使用している Cisco ワイヤレス IP 電話 8821 で解決済みの、重大度 1、2、および 3 の不具合が記載されています。

個々の不具合の詳細については、バグ検索ツールキットから不具合に関するオンラインレコードにアクセスしてください。このオンライン情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

不具合の状態は頻繁に変わるため、このリストはこのレポート編集時点で解決済みだった不具合のスナップショットを表しています。解決済みの不具合の更新されたビューまたは特定のバグを表示するには、[不具合の表示](#), [on page 5](#) の説明に従ってバグ検索ツールキットにアクセスします。

- CSCvp31145 省電力をイネーブルにすると音質が低下する
- CSCvp35700 wlanmgr デバッグはテレフォニー ログ プロファイルの対象外です
- CSCvp63439 WLAN ファームウェアの脆弱性: EAPOL M3 埋め込み GTK: ダブルバッファ オーバーフロー
- CSCvq19702 TCP_SACK 用 sl-wireless-phones の評価
- CSCvq21067 8821 が完了までに 5 秒以上を要求する 405 NOTIFY for XML アラート通知を送信する
- CSCvq37631 圏外となった後で電話機を再登録すると、回線ラベルに「????」と表示される
- CSCvq42948 8821 電話機が SCEP を介して LSC 証明書を更新できない
- CSCvq48506 8821 で断続的なネットワーク ビジー状態が発生し、PS ポーリングまたは U-APSD 省電力モードとなる
- CSCvq63813 共有回線の 8821 Wireless IP 電話が通話中に会議/転送ソフトキーを表示しない
- CSCvq82571 通話中に [転送 (Transfer)] ソフトキーまたは [電話会議 (Conference)] ソフトキーを押すと、共有回線に誤ったコール ビューが表示される
- CSCvq95752 「異常な連続 EBUSY エラー」が原因で、CUCM から電話機の登録が削除された
- CSCvr16492 アクティブ コール中に、RTP シーケンス番号リセット/ロールオーバー後 CP-8821 電話機で片通話になる
- CSCvr26925 接続中に最大音量を使用すると不明瞭な音声が発生する
- CSCvr51045 8821: PEAP 認証が断続的に失敗する
- CSCvr73405 WLAN がセッションタイムアウトのために応答を停止する
- CSCvr96070 Cisco Voice over IP 電話におけるリモート コード実行およびサービス拒否の脆弱性
- CSCvr96103 Cisco Voice over IP 電話 CDP ブロードキャストの問題
- CSCvs05461 8821 2つのタイマー間の競合状態が原因で NOTIFY 405 エラー コードで断続的に応答する

Cisco Unified Communications Manager 公開キー

ソフトウェア保全性保護を強化するために、Cisco Unified Communications Manager リリース 10.0.1 以上の cop ファイルの署名には、新しい公開鍵が使用されます。これらの cop ファイル名には“k3”があります。10.0.1 より前の Cisco Unified Communications Manager に k3 cop ファイルをインストールするには、Cisco cm.version3-keys.cop.sgn の README をお読みになり、その追加の cop ファイルを、まず特定の Cisco Unified Communications Manager のバージョンにインストールする必要があるかどうかを判断してください。これらの鍵が存在していないものの必要である場合は、ソフ

トウェア パッケージをインストールしようとする時、“「The selected file is not valid」”というエラーが表示されます。

Unified Communications Manager エンドポイント ロケール インストーラ

デフォルトでは、Cisco IP Phone は英語（米国）のロケール用に設定されます。それ以外のロケールで Cisco IP Phone を使用するには、そのロケールに特化したバージョンの Unified Communications Manager エンドポイント ロケール インストーラを、クラスタ内の各 Cisco Unified Communications Manager サーバにインストールする必要があります。ロケール インストーラは電話機のユーザ インターフェイス用の最新版の翻訳テキストおよび国別の電話トーンをシステムにインストールし、Cisco IP Phone で使用できるようにします。

特定のリリースに必要なロケール インストーラにアクセスするには、<https://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=286037605&flowid=46245> にアクセスし、お使いの電話機モデルに移動して、Unified Communications Manager エンドポイント ロケール インストーラのリンクを選択します。

詳細については、Cisco Unified Communications Manager のご使用のリリースのマニュアルを参照してください。



Note 最新のロケール インストーラがすぐに利用できるとは限らないため、Web サイトの更新を継続的に確認してください。

Cisco Unified Communications Manager で Cisco IP 電話 ドキュメンテーション更新...

Cisco Unified Communications Manager セルフケアポータル(リリース 10.0 以降)およびユーザ オプション Web ページ(リリース 9.1 以降)は、PDF 形式の IP 電話のユーザガイドへのリンクを提供します。これらのユーザガイドは Cisco Unified Communications Manager に保存され、Cisco Unified Communications Manager リリースがお客様に対して最初に利用可能になった時点で最新の状態になります。

Cisco Unified Communications Manager リリース後、ユーザガイドの後続の更新は、Cisco Web サイトにのみ表示されます。電話ファームウェアのリリース ノートには、該当するドキュメントの URL が含まれています。Web ページで、更新されたドキュメントのドキュメントリンクの横には“更新済”と表示されます。



Note Cisco Unified Communications Manager デバイスパッケージおよびユニファイド コミュニケーション マネージャ エンドポイント ロケール インストーラは、Cisco Unified Communications Manager の英語のユーザガイドを更新しません。

ユーザは、Cisco の Web サイトで更新されたユーザガイドを確認し、PDF ファイルをダウンロードする必要があります。ユーザは、会社の web サイトでユーザがファイルを使用できるようにすることもできます。



Tip 会社で導入されている電話機モデルの web ページをブックマークして、それらの Url をユーザに送信することもできます。

Cisco IP 電話ファームウェアのサポート ポリシー

電話機のサポート ポリシーについては、<https://cisco.com/go/phonefirmwaresupport> を参照してください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.